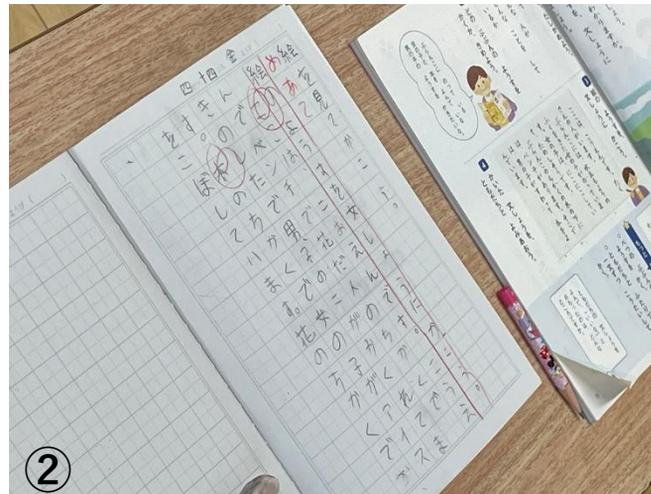


「自分大好き」「友達大好き」を目指した 授業づくりのヒント



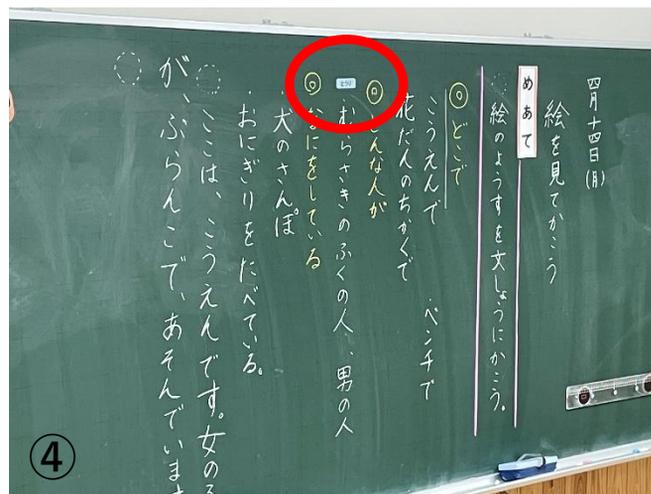
①



②



③



④

- ①： 「絵を見て自分で書くことを選ぶ」という、学習課題に自己選択・自己決定があります。自己選択・自己決定は学習意欲の向上につながるとともに、場合によっては、子ども達の学力差に応じることができます。「こんなことがやりたい」「これならできそうだ」という学習への主体的な参加が「自分大好き」の第一歩です。
- ②： 自己選択・自己決定した課題に対する自分の考えが、ノートにしっかりと記述されています。「自分の考え」をつくることはとても大切です。そこに対する、即時的な教師の評価「丸付け」は、子ども達にとって大きな自信となります。
- ③： 自分の考えを発信する場が全員に保障されています。考えを話せる自分も素敵ですし、真剣に聞いてくれる友達も素敵です。
- ④： 板書に子ども達の考えが位置づけられています。自分の考えが板書されるのも嬉しいですし、友達の考えのよさを感じることも大切です。ネームプレートを使った授業の積み上げが、子ども達の自信と互いの良さを認め合う共感的人間関係の醸成につながります。

以上①から④のことですが、普段から多くの授業場面で取り入れられていることです。重点目標達成につながっていることを「意識」して「継続」していくことが大切です。